

于ムニ251

塗装工程改善検討結果(耐酸性試験)

1. 結論
2. 塗膜性能評価方法
 2. 1. 塗板作製条件
 2. 2. 評価方法
3. 塗膜性能評価結果
4. 添付写真

1. 結論

サーモジンチムニ250の改良品251に関して、塗装工程改善検討として、従来の1種ケレンで標準塗装回数3回に関して、削減可否検討してきました。
今般、251を用いて1回少ない2回塗りで、10%硫酸浸漬による耐酸性試験を行いました。

結果、1種ケレン、塗装回数2回でも5000時間浸漬後腐食が発生しないことが確認できました。

従来の試験結果含めて、1種ケレンでは塗装2回。
2種ケレンでは塗装3回と、標準仕様の塗装工程の簡素化が可能との結論になりました。

2. 塗膜性能評価方法

2. 1. 塗板作製条件

<基材>

S P C C - S D (150 × 70 × 2^tm/m)

<素地調整>

ブラスト処理

<塗装方法>

エアスプレー

<複合膜作製>

塗料配合：ベース／硬化剤＝80／20（重量比）

使用塗料	塗装回数	膜厚 (μm ／1回)	中間乾燥	焼成条件
チムニ251	2回	60～70	常温 × 1h以上	100°C × 20min

2. 2. 評価方法

<評価方法>

チムニ251黒を塗布した塗板を10%硫酸に5000時間浸漬させ、塗板への腐食の有無を確認する。（室温：20～30℃）

<評価基準>

腐食等無きこと



3. 塗膜性能評価結果

チムニ251

項目	2回塗	3回塗
膜厚(μm)	121~139	191~210
外観(5000h後)	腐食なし	腐食なし

<耐酸性 (10% H_2SO_4 浸漬 5000h) >

2回塗の塗膜で腐食はありませんでした。

限界測定のため試験は継続中(5000h~腐食するまで1000h毎確認)。

4. 添付写真



過去評価(参考)

